

食・農・暮らしを見直し

自分たちで学び実践し

オーガニックな町へ変えていく。

自然への感謝と

楽しむ心を忘れずに。

オーガニック

映画祭

2022年

日程

8/20(土)・21(日)

場所

江津ひと・まちプラザ パレットごうつ

〒695-0011 島根県江津市江津町1518-1

内容

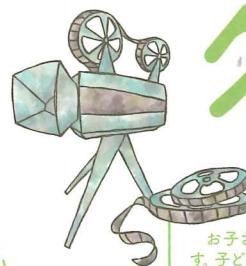
8/20
土曜日

第一部 10:00~11:15 映画「いただきます」(75分)
(休憩10分)
11:25~11:55 オオタヴィン監督講演「いただきます」(30分)
12:00~12:20 オオタヴィン監督サイン会
第二部 13:30~15:00 映画「夢みる小学校」(90分)
(休憩10分)
15:10~15:40 オオタヴィン監督講演「夢みる小学校」(30分)
15:45~16:05 オオタヴィン監督サイン会
マルシェ 15:00~20:00 夜市マルシェ「Picnic ichiba Palette」

8/21
日曜日

第三部 10:00~11:20 映画「いただきます2」(80分)
(休憩10分)
11:30~12:00 オオタ監督&吉田俊道氏対談(30分)
第四部 13:30~15:00 吉田俊道氏講演会(90分)
(休憩10分)
15:10~ 映画「食の安全を守る人々」(103分)

オーガニック
弁当のご予約も
可能です



お子さま連れ
鑑賞歓迎!

お子さま連れの方の鑑賞も歓迎します。子どもが泣いちゃったり、やんちゃに遊んでいたりしても、あやしながらなるべくそのまま映画を見て頂けるようにしたいと思っています。お子さま連れでないお客様も、子どもの声がする可能性があります。それもBGMだ、くらいの感覚であたたかく見守ってくださると嬉しいです。多世代が集って鑑賞できる上映会を目指します。

お申し込みは
コチラから



映画、講演会(1日フリーパス) [一般] 1,000円 [小学生~高校生] 500円 [未就学児] 無料

[お問合せ] tel.0855-52-2050(アルソア販社 株式会社三維)

要事前申込(映画1作品につき上限200名先着順)

[主催] 菌ちゃんクラブいわみ [後援] 江津市教育委員会、江津市有機農業推進協議会、農業法人(株)菌ちゃんふぁーむ [協賛] naofarm、コドモライいわみ、アルソア販社(株)みつい





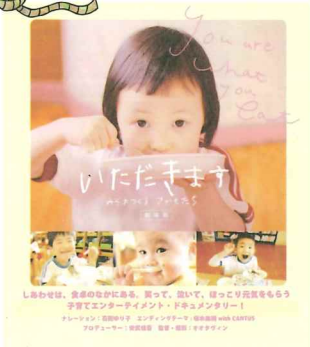
上映映画のご紹介

映画、講演会(1日フリーパス)

[一般] 1,000円

[小学生~高校生] 500円

[未就学児] 無料



8.20日 10:00~「いただきます ~みそをつくる子どもたち~」



監督:オオタヴィン / ナレーション:石田ゆり子 / 音楽:坂本美雨

しあわせは、食卓のなかにある。笑って、泣いて、ほっこり元気をもらう、子育てエンターテイメント・ドキュメンタリー。福岡市 高取保育園。そこには、まるでタイムトリップしたような懐かしい日本の子育てがありました。素足で駆け回り、竹馬で遊ぶ。真冬でも、薄着、素足で風邪を引かない。自分たちが飲みみそ汁のみそを毎月100キロづつ仕込む。

給食は、医食同源に基づいた、玄米、みそ汁、旬の惣菜。和食が苦手だと思われる現代っ子ですが、ここでは毎日完食です。高取保育園は、増え続けるアレルギー・園児の解決策を「食」に探り、アレルギー、アトピーの園児の症状を改善しています。アレルギーのお子さんを持つお母さんは、必見です。驚きの「高取保育術」に、日本中から教育視察が絶えません。よく食べ、よく遊ぶ、元気な子育てのヒントが満載です。



8.20日 13:30~「夢みる小学校」



監督:オオタヴィン / ナレーション:吉岡秀隆 / 音楽:ザ・ブルーハーツ
出演:堀真一郎、尾木直樹、茂木健一郎、辻信一、高橋源一郎ほか

「楽しくなければ、学校じゃない」宿題がない、テストがない、「先生」がいない。「きのくに子どもの村学園」の子どもたちは「プロジェクト」とよばれる体験学習の授業を通じて、自分たちでプロジェクトを運営し自らの頭で考えます。「楽しくなければ、学校じゃない」と、子どもの村のスタッフは口をそろえます。キラキラした目で笑顔で学ぶ小学生の姿を見た事がありますか? 学校って、本当はこんなにわくわくする場所だったのです。学校観が180度変わる“うれしい衝撃の授業風景”をご覧ください。



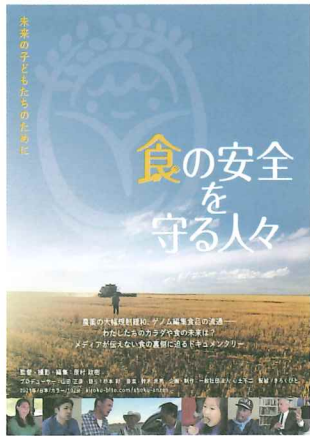
8.21日 10:00~「いただきます2 ~こは、発酵の楽園~」



監督:オオタヴィン / ナレーション:小雪 / 音楽:ザ・ハイロウズ

発酵の魔法で、土と食物と私たちも幸せになっていく美しい里山で、苗を植え稲刈りを園児たちが行うみいづ保育園、微生物を活かした農法で園児たちが野菜を作り給食で食べるマミー保育園など、子どもたちは、泥んこまみれのキラキラの笑顔。美味しい野菜を食べた子どもたちの清たい表情、その秘密は微生物たちの「発酵の楽園」にありました。DNA解析に基づいた最新の“腸活”をアニメーション化、発酵の常識が180度変わる驚きの連続です。自然と人が調和した“楽園”を、きっと身近に感じられるはずです。

全国600箇所で上映された「いただきます みそをつくるこどもたち」の監督、オオタヴィンの新作がついに公開! 子育て真っ最中の小雪さんがナレーターを務めます。挿入歌のザ・ハイロウズ、坂本美雨など多彩なヒーリングミュージックも満載。ほっこりハートフルな映像で、心も体もオーガニックに生まれ変わるエンターテイメント・ドキュメンタリーの誕生です。



8.21日 15:10~「食の安全を守る人々」



監督:原村政樹 / ナレーション:杉本彩 / 音楽:鈴木光男

種子法廃止、種苗法の改定、ラウンドアップ規制緩和、そして表記無しのゲノム編集食品流通への動きと、TPPに端を発する急速なグローバル化により日本の農と食にこれまで以上の危機が押し寄せている。しかし、マスコミはこの現状を正面から報道することはほとんどなく、日本に暮らすわたしたちの危機感は薄いの現状である。

この趨勢が続けば多国籍アグリビジネスによる支配の強まり、食料自給率の低下や命・健康に影響を与えることが懸念される中、弁護士で元農林水産大臣の山田正彦が、長年、農業をテーマに制作を続けている原村政樹監督との二人三脚で撮影を進め、日本国内だけでなく、アメリカでのモンサント裁判の原告や、子どものために国や企業と闘う女性、韓国の小学校で普及するオーガニック給食の現状など幅広く取材。果たして日本の食の幸せな未来図はどこに…。2020年第94回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第7位に選出され、同年の第38回日本映画復興奨励賞を受賞した『タネは誰のもの』のベースとなり、クラウドファンディングでも1600人以上から支援が集まり話題を呼んだ本作。山田正彦プロデューサーと原村政樹監督のタッグに加えて女優で作家、ダンサーの杉本彩がナレーションを担当。前作と本作を通して、農と食のあるべき姿が見えてくる。

講師のご紹介



●プロフィール | 吉田 俊道 (よしだ・としみち)

(株) 菌ちゃんふあーむ代表取締役・NPO大地といのちの会理事長・農学修士。1959年長崎市生まれ。九州大学農学部大学院修士課程修了後、長崎県の農業改良普及員に。96年、県庁を辞め、有機農家として新規参入。99年、佐世保市を拠点に「大地といのちの会」を結成し、全国に菌ちゃん野菜作りと元気人間作りを普及している。2007年、同会が総務大臣表彰(地域振興部門)を受賞。2009年、食育推進ボランティア表彰(内閣府特命担当大臣表彰)。長崎県環境アドバイザー。

主な著書は「生ごみ先生の元気野菜作り超入門」「菌ちゃん野菜作り&元気人間作り」「お野菜さんありがとう~子どもと一緒に菌ちゃん野菜作り」



●プロフィール | オオタヴィン

監督、撮影、編集、デザイン、雑用など映像制作のすべてをひとり兼任することでパーソナルな質感の映画づくりを愉しんでいる。(どうやら器用貧乏らしい) 変なペンネームだが、愛知県出身、ただの日本人のオジサンである。発酵食・伝統食で自身の体調を改善させた「発酵映画監督」。その体験を活かし医食同源・食養生をテーマにした「いただきます1 みそをつくるこどもたち」を初監督。累計上映回数 800 回を今なお更新中のロングランヒット作となる。

有機農業と発酵をテーマにした「いただきます2 こは、発酵の楽園」は1作目を超える勢いで全国で絶賛上映中。「いただきます1」「いただきます2」は、農林水産省「食育課のタイアップ作品」に選定された。最新作は、心の発酵と自由教育をテーマにした「夢みる小学校」。『夢みる小学校』は、文部科学省選定映画になる。「まほろばスタジオ」を主宰し、毎月映画と講演を配信している。「なつかしいミライ」へ向かう新作映画を、日々、妄想中。